

効率化されたスマート・ミーティングを提供する 「AI GIJIROKU (AI議事録)」

株式会社 オルツ 代表取締役CEO 米倉 千貴 氏

株式会社オルツと第三次AIブーム

株式会社オルツ（以下、当社）は、「人間からあらゆる非創造的な仕事を排し、人間が人間にのみ許された創造的な仕事に従事できる世界を作る」という理念の下、2014年11月に設立されました。そして、設立以来、デジタルクロウン技術によるP.AI.（パーソナル人工知能）[®]「alt（オルツ）」や関連技術の研究開発、関連サービスの企画・運営などを行ってきました。パーソナル人工知能は、私たちがデジタル上に残す動画や画像、音声や文書情報を収集・解析し、その人に成り代わって会話などを行える「個人を再現したAI」がデジタル業務を代替することを目指すもので、まさに、SF世界を現実とするような技術といえます。

現在は、2000年代から続く第三次AIブームといわれています。今後、テクノロジーの進展により、仕事が高度化、多角化し、さらにはAIに代替される可能性も考えられます。そのため私たちは、これまで以上に「人間にしかできないこと、人間が得意なこと」、「高度化するテクノロジーとどのように棲み分け、協業しながら仕事や生活を発展させていくか」を考えなければならなくなっているといえます。

こうした中、当社では様々なサービスを通じて理念の実現を目指していますが、本稿では、会議議事録の自動文字起こしツール「AI GIJIROKU (AI議事録)」についてご紹介します。



CM画像

AI GIJIROKU (AI議事録) とは

「AI GIJIROKU (AI議事録)」は、当社の技術を具現化したサービスの一つで、2020年1月に世に送り出しました。

従来は、録音音声の書き起こしや手書きメモを手入力することで作成することが基本であった議事録をリアルタイムにテキスト化するもので、効率化された会議「スマート・ミーティング」の実現に貢献できるサービスです。

AI GIJIROKU (AI議事録) の特長

当社の「AI GIJIROKU (AI議事録)」の主な特長についてご説明します。

1. ZOOM連携をするだけで発言を字幕表示

「AI GIJIROKU (AI議事録)」は、ビデオチャットサービスでのオンライン会議やウェビナー（インターネットを通じたセミナー）での発言をリアルタイムでテキスト化し、会議終了後は議事録を自動保存します。さらに、国内唯一のZoom連携により、Zoom利用時は会議の最中にリアルタイムで画面に文字を字幕のように表示し、可視化することも可能です。発言が可視化されることで理解が深まり、リモートワークでも生産性を高めることができます。

また、会議だけでなく、顧客とのオンラインでの打ち合わせやヒアリングなどでの発言を文字として残しておくことにも活用できます。

2. 音声認識精度99.8%

発言を正確に記録し情報共有をスムーズに

チームメンバーの発言が正しく記録されるので、会議に出席できなくても情報共有が簡単にできます。会議室でのオフライン利用も可能で、参加者が複数名の場合でもAIが発言者を特定し、議事録を自動作成します。

誤認識された部分は簡単に修正することができ、修正結果は蓄積されてAIの機械学習に利用されます。そのため、使えば使うほど精度が向上していく仕組みとなっています。

3. リアルタイム翻訳は30か国語以上に対応 外国語を交えた会議や商談に最適

30か国語以上に対応したリアルタイム翻訳機能で、外国人メンバーとの会話が母国語で記録されます。AIに翻訳テキストを発話してもらうこともでき、コミュニケーションが取りやすくなります。

外資系企業における母国との会議や、海外進出している企業における現地への指示、農産物の輸出の商談などにおいて、現地の言語が分からなくても十分にコミュニケーションを図ることが可能です。

4. 業種別音声認識

各業界の専門用語を認識し話し方の癖も反映

「AI GJIROKU (AI議事録)」は、オンライン会議やウェビナーなどでの利用増加に伴うご要望にお応えし、業種別の音声認識機能を強化しています。AIが各業界の専門用語を認識し、独自のパーソナライズ技術で話し方の癖を反映しながら正しく記録します。

業種別音声認識機能は様々な業種で導入されていますが、特に、建築、医療、薬剤等の分野での利用が活発化しています。現在18の業種に対応していますが、順次対象業種を追加していきます。



現在の進捗を教えてください。

Please tell me your current progress.
请汇报现在进行的情况。



Everything is mostly progressing smoothly.

大方順調です。
一切大致上进行的很顺利。



うまくいっていない部分はどこですか？

What are the problem areas?
有问题地方在哪里？



The issue that is being delayed, actually.

実は課題になっていた部分が遅れています。
问题出于在其实时间上有所延误。



リアルタイム翻訳のイメージ

4つのプランをご用意 導入しやすく

「AI GJIROKU (AI議事録)」は、利用者の規模等に応じた4つのプランがあり、料金は月額で支払うサブスクリプションモデルで提供しています。

リアルタイム翻訳のイメージ

プラン	月払い 料金	チーム メンバー数	
①フリー	無料	—	議事録のチュートリアル*と閲覧ができます。(議事録の収録はできません)
②パーソナル	1,500円	—	個人でご利用いただくのに向いたプランです。招待コードをお持ちの方は、最初の1ヵ月無料でご利用いただけます。
③チーム	29,800円	10人	小規模チームでの利用が可能なプランです。セキュリティも強化され支払い・利用者管理の機能も追加されています。
④ビジネス	200,000円	100人	大規模なチームでも利用可能な企業向けプランです。法人でのご利用はこちらをご利用ください。

*チュートリアル：ソフトウェアの使い方を習得するための教材

導入企業数が増加するほど進化するAI

おかげさまで、「AI GJIROKU (AI議事録)」を導入した企業数は、リリース開始から約2年後の2022年3月で4,000社を突破しました。ビジネスプランを中心に、少人数で使えるプランの導入も増えています。各社から様々な議事録作成ツールがリリースされていますが、その市場全体からみても記録的な成長といえます。

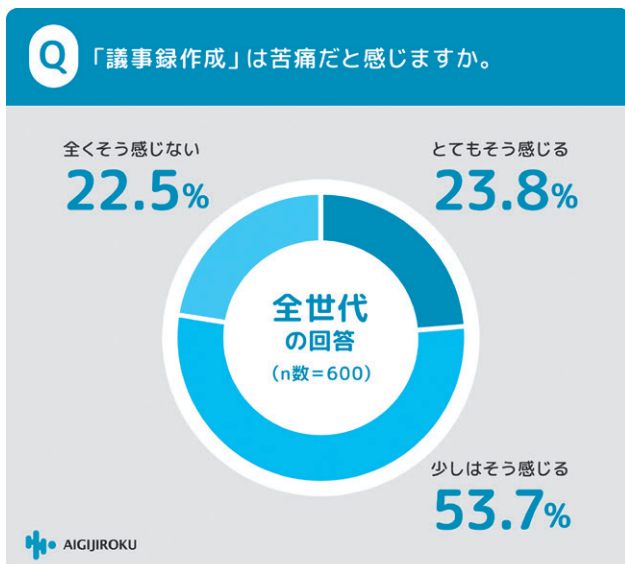
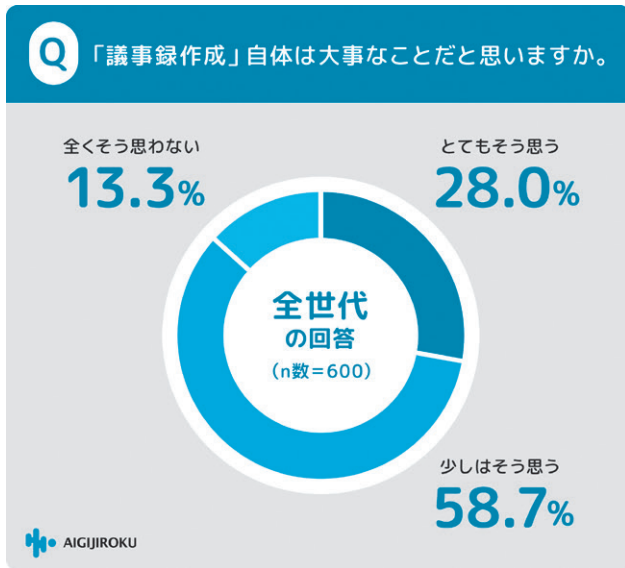
「AI GJIROKU (AI議事録)」は、議事録の作成にとどまらない色々な活用方法が考えられますので、多くの中小企業や個人事業主、農家の方々などにご利用いただき、新しい使い方を試していただきたいと思っています。そうしてAIが学習を重ねることによって、さらに賢くなっていき、皆様に提供できるサービスを充実させていくことにつながっていきます。

アンケートにより潜在ニーズが判明

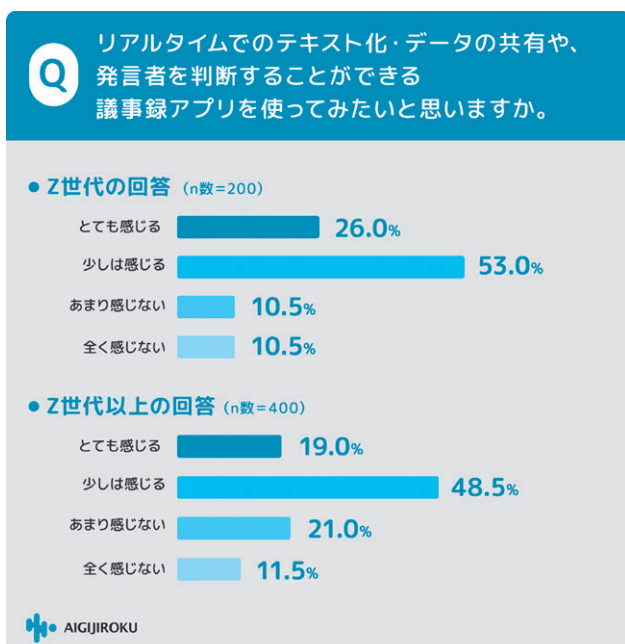
2021年12月、当社は20代～60代の男女600人（Z世代＝入社数年の若手200人、Z世代以上400人）を対象に「議事録に関する調査」を実施しました。

議事録作成は大事であるが苦痛を感じる矛盾した仕事で、議事録アプリによって効率化したいと感じていることがわかります。また、議事録作成が若手だけの仕事ではないことも判明し、「AI GJIROKU (AI議事録)」導入の潜在的なニーズが明らかになりました。

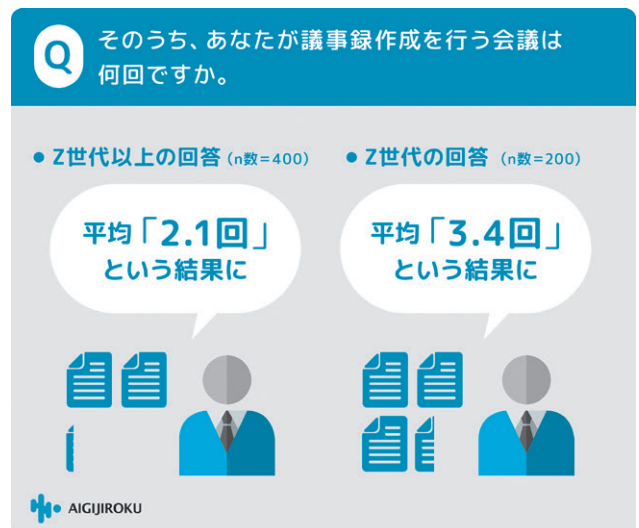
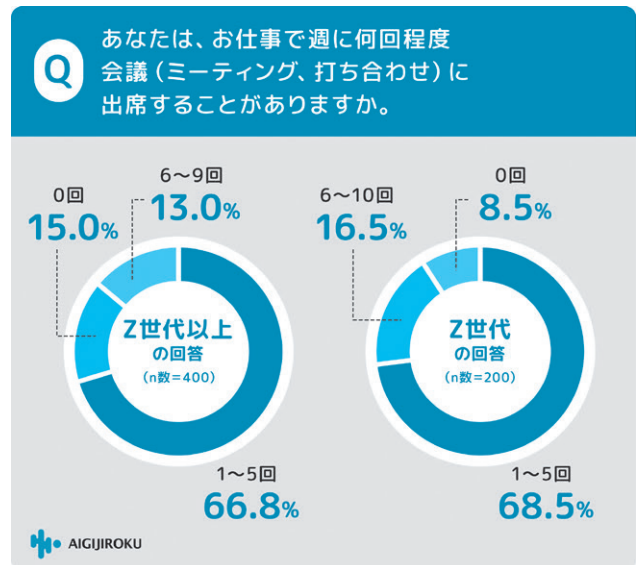
①全世代で議事録作成は「大事だが苦痛」な矛盾のある仕事と感じている



②Z世代、Z世代以上とも議事録アプリを使ってみたいと感じている



③全世代の6割後半が週に1回～5回会議に出席している。そのうち、議事録作成は、Z世代は平均3.4回、Z世代以上は平均2.1回行っている



AIの発展による人間らしい社会を目指して

以上のアンケートの結果から、議事録の作成を自動化することは従業員満足度と生産性の向上につながると考えられます。

当社では、こうしたサービスに加えて、デジタルクローン技術によるP.A.I.（パーソナル人工知能）「alt（オルツ）」を含む当社の技術とサービスを発展させ続けることによって、人間がより人間らしい、人間ならではの領域にエネルギーを注ぎ開花させ、自己を自身の評価によって律する人類史上初の自律社会の実現を目指してまいります。

当社は筑波銀行と連携し、地域のお客様のDXを支援しています。「AI GIJIROKU (AI議事録)」にご関心のある方は、お取引のある筑波銀行営業店にお声かけ下さい。